



マニュアルをお読みにする前に

本パソコンはオリジナルモデルです。インターネット上のマニュアルをご覧になるときは、製品名

「LIFEBOOK U9312/K」を選択してください。また『取扱説明書』と『製品ガイド（機種別編）』を次のように読み替えてください。

■『取扱説明書』

本パソコンの添付品は変更されています。『取扱説明書』の「はじめに添付品を確認してください」は、次のように読み替えてください。

はじめに添付品を確認してください

万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。なお、記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。

添付品			
<input type="checkbox"/> パソコン本体	<input type="checkbox"/> ACアダプタ	<input type="checkbox"/> 電源ケーブル	<input type="checkbox"/> 取扱説明書
<input type="checkbox"/> 保証書	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルをお読みにする前に（本紙）	<input type="checkbox"/> リカバリ起動ディスク	<input type="checkbox"/> リカバリデータディスク ^注
<input type="checkbox"/> ドライブスディスク	<input type="checkbox"/> Office 製品プロダクトキーカード *（Office 選択時）		
・（*）Office を選択した場合 プロダクトキーは Office のプロダクトキーカードに記載されています。インストールしたパソコンとプロダクトキーをセットにして、大切に保管してください。			

注：Windows 11 Proのリカバリデータディスクが添付されます。Windows 10 Pro（64ビット版）（Windows 11 Pro ダウングレード）の場合、Windows 10 Pro用のディスクも添付されます。

■『製品ガイド（機種別編）』

本パソコンは次の仕様を選択されています。『製品ガイド（機種別編）』の「第5章 仕様」－「5.1 本体仕様」では「LIFEBOOK U9312/K 無線 WAN モデル」の表で該当するCPUに対応する列をご覧になり、次のように読み替えてください。※本パソコンはオリジナルモデルのため、『製品ガイド（機種別編）』のカスタマイズオプション選択についての記載は読み飛ばしてください。

製品名称		LIFEBOOK U9312/KX					
CPU ^{注1} （Secured-core PC 非対応）	名称	インテル® Core™ i7-1265U プロセッサ		インテル® Core™ i5-1245U プロセッサ		インテル® Core™ i5-1235U プロセッサ	
	動作周波数	P コア：最大 4.80GHz E コア：最大 3.60GHz		P コア：最大 4.40GHz E コア：最大 3.30GHz		P コア：最大 4.40GHz E コア：最大 3.30GHz	
メインメモリ ^{注2}		16GB	8GB	16GB	8GB	16GB	8GB
		（オンボード）（LPDDR4X-4266）					
表示機能	液晶ディスプレイ ^{注3}	タッチパネル非搭載	LED バックライト付 13.3 型ワイド TFT カラー				
フラッシュメモリディスクドライブ ^{注4注5}	SSD 512GB	○	○	-			
	SSD 256GB	-	○	○			
オーディオ機能	マイク	デジタルステレオマイク					
Web カメラ		有効画素数 約 92 万画素（Windows Hello 対応）					
キーボード		日本語アイソレーションキーボード （キーピッチ約 19mm、キーストローク約 1.5mm、86 キー、JIS 配列準拠）					
ポインティングデバイス		フラットポイント					
通信機能	無線 WAN （対応モデルの場合）	-	対応（LTE） ^{注6}	-	対応（LTE） ^{注6}	-	対応（LTE） ^{注6}
インテル® vPro® プラットフォーム		-					
セキュリティ機能	指紋センサー ^{注8}	タッチ方式					
	手のひら静脈センサー ^{注8} （無線 WAN 対応モデル）	-	○	-	○	-	○
	スマートカード	-					
インターフェース	USB ^{注9注10}	Type-C ^{注11}	USB 3.2（Gen2） ^{注12} ×1（左側面）（DisplayPort Alternate Mode 対応 ^{注13} ）				
電源供給方式		USB Type-C AC アダプタ ^{注14}	入力 AC100V～240V、出力 DC20V（2.25A）				
バッテリー駆動時間 ^{注15注16} （JEITA2.0 ^{注17} ）		約 29.5 時間（無線 WAN モデル 約 28.0 時間）					
バッテリー充電時間 ^{注18}		約 3.1 時間					
消費電力 ^{注19} （最大時）		約 3.3W（約 74W）		約 3.6W（約 74W）		約 3.6W（約 74W）	
質量 ^{注20}		約 867g（無線 WAN モデル 約 908g）					
プレインストール OS ^{注21}		Windows 11 Pro / Windows 10 Pro（64ビット版）（Windows 11 Pro ダウングレード）					

- 注1：・アプリによっては、CPU名表記が異なる場合があります。
 ・本/パソコンに搭載されているCPUで使用できる主な機能については、「製品ガイド（機種別編）」の「5.2CPU」をご覧ください。
- 注2：メモリの増設時は、場合によりすでに搭載されているメモリを取り外す必要があります。
- 注3：以下は液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
 ・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。
 ・本/パソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
 ・長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらくすると消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定は、「電源オプション」ウィンドウ左の「ディスプレイの電源を切る時間の指定」から行えます。
 ・表示する条件によってはムラおよび微小なほん点が目立つことがあります。
- 注4：容量は、1GB=1000³バイト換算値です。
- 注5：暗号化機能付フラッシュメモリアドレス（DRAM-less SSD PCIe NVMe）
- 注6：無線WAN（LTE）モデル
 ・NTTドコモの通信サービスをご利用の場合
 SIMカードスロットにXiに対応したSIMカード(*1)を装着するだけで、超高速通信が可能です（Xiエリアの一部に限ります。>(*2) Xiエリア外であってもFOMAのエリアであれば高速通信が可能です。>(*3)
 *1：ドコモ nanoUIM カードが利用可能です。
 *2：対応エリアの詳細は、ドコモのホームページでご確認ください。通信速度は、ベストエフォート方式による提供となり、エリアの通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。エリアの詳細についてはNTTドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/area/index.html>
 *3：無線WANをご利用になるには、当社が提供する企業向けネットワークサービス「FENICS II ユニバーサルコネクタ」の契約またはNTTドコモとの回線契約およびXiに対応したプロバイダーとの契約が必要です。
 「Xi」、「FOMA」および「Xi」ロゴは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
 ・KDDI(au)の通信サービスをご利用の場合
 SIMカードスロットに4G LTEに対応したSIMカード(*1)を装着するだけで、4G LTE(*2)、WiMAX 2+の高速通信がご利用いただけます。(*3)
 *1：「au Nano iCCard 04 LE」のご利用となります。
 *2：一部エリアを除く。
 *3：4G LTE エリア内であっても電波状況によりご利用いただけない場合があります。エリアについての詳細情報は、<https://www.au.com/mobile/area/>をご覧ください。「4G LTE」「WiMAX2+」は回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと判断したネットワークに接続します。
- 注7：・SoftBankの通信サービスをご利用の場合
 SIMカードスロットにソフトバンクのSIMカード(*1)を装着するだけで、「SoftBank 4G LTE」「SoftBank 4G」の超高速通信が可能です。また、「SoftBank 4G LTE」「SoftBank 4G」エリア外でも「3G ハイスピード」の通信でご利用が可能です。>(*2)(*3)(*4)

- *1：ソフトバンク所定のUSIMカード「USIMカード(F)」でご利用が可能です。「USIMカード(F)」からnanoサイズで取り外し装着してください。
- *2：SoftBank 4G LTE、SoftBank 4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合(ITU)の声明に基づきサービス名称として使用しています。
- *3：対応エリアの詳細はソフトバンクのホームページ(<https://www.softbank.jp/biz/mobile/network/>)でご確認ください。
- *4：無線WANをご利用になるには、ソフトバンクとの通信回線契約が必要です。
- 注8：選択したモデルにより指紋センサー、または静脈センサーのいずれかが搭載されています。
- 注9：・すべての対応機器の動作を保証するものではありません。
 ・長いケーブルを使用し、USB デバイスを接続した場合、USB デバイスが正常に動作しないことがあります。この場合は、USB 準拠の短いケーブルをお試しください。
- 注10：外部から電源が供給されない USB 対応周辺機器を接続するときの消費電流の最大容量は次のとおりです。詳しくは、USB 対応周辺機器のマニュアルをご覧ください。
 ・USB 3.2 (Gen2) Type-Cは、1ポートにつき1.5A
 ・USB 3.2 (Gen1) Type-Aは、1ポートにつき900mA
 ただし、電源オフ USB 充電機能対応のUSBコネクタは、1ポートにつき1.5A
- 注11：・接続したUSB対応機器の転送速度(理論値)は次のとおりです。
 - USB 3.2 (Gen2) 対応機器：最大10Gbps
 - USB 3.2 (Gen1) 対応機器：最大5Gbps
 - USB 2.0 対応機器：最大480Mbps
 ・USB Power Delivery に対応しています。
 ・映像出力に対応しています。
- 注12：・USB Power Delivery 対応機器へ給電(最大5V/1.5A)できます。
 ・USB Power Delivery 対応で7.5W (5V/1.5A) 以上を供給可能な機器であれば、パソコン本体に充電できます。
 パソコンを使用しながら充電する場合は、USB Power Delivery 対応で45W (20V/2.25A) 以上を供給可能な機器が必要となります。また、次のような場合は、パソコンを充電していてもパソコンのバッテリーが減ることがあります。
 - パソコンが動作している(高負荷処理を行っているなど)
 - 接続機器への給電電力が大きい(消費電力の大きな機器を複数接続しているなど)
 ・すべての対応機器の動作を保証するものではありません。
- 注13：すべてのDisplayPortの動作を保証するものではありません。
- 注14：矩形波が出力される機器(UPS(無停電電源装置)や車載用DC/AC電源など)に接続されると故障する場合があります。
- 注15：バッテリー駆動時間は、ご利用状況やカスタムメイド構成によっては記載時間と異なる場合があります。
- 注16：BIOS セットアップの「詳細」メニュー→「各種設定」→「ハードウェア省電力機能」を使用するに設定した場合のバッテリー駆動時間です。
- 注17：一般団法人電子情報技術産業協会「JEITA」バッテリー動作時間測定法(Ver.2.0) (<https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=848ca=1>) に基づいて測定。
- 注18：・電源オフ時および省電力状態時。装置の動作状況により充電時間が長くなる場合があります。
 ・バッテリーユーティリティで「80%充電モード」に設定した場合の充電時間は異なりします。
- 注19：・当社測定基準により(標準搭載メモリ、標準フラッシュメモリアドレス容量、LCD 輝度最小)。
 ・電源オフ時の消費電力は満充電時です。
 また、電源オフ時の消費電力を0にするには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 注20：平均値のため、お使いのパソコンで質量が異なる場合があります。
- 注21：日本語 64 ビット版。